

「腫瘍遺伝学セミナー」を開催

2013年3月19日

3月19日(火)にがん進展制御研究所棟 4階会議室において、シンガポール医学生物学研究所・幹細胞研究グループ Marc Leushacke 博士を迎え、「胃粘膜Lgr5陽性幹細胞による粘膜恒常性維持への関与」と題して、腫瘍遺伝学セミナーを開催しました。

セミナーでは、胃粘膜腺管に存在する単一のLgr5陽性幹細胞を最新の技術により可視可して、4色のレポーターによる細胞運命の測定など、その動態制御について、とても興味深い最新の知見を紹介して頂きました。直前の案内にも関わらず、大学院生を中心に約20名の研究所員が参加して、活発な質疑応答や意見交換が行なわれました。

